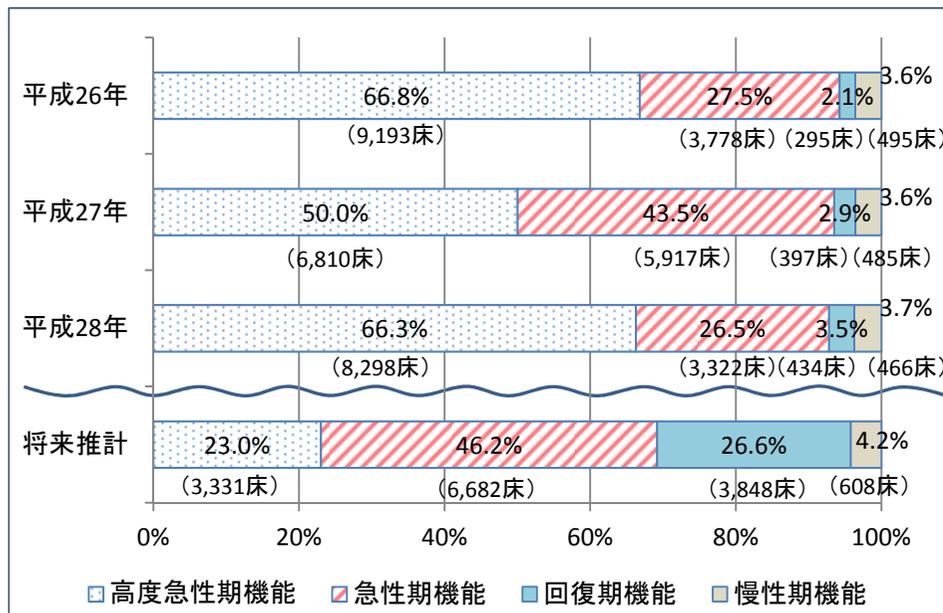
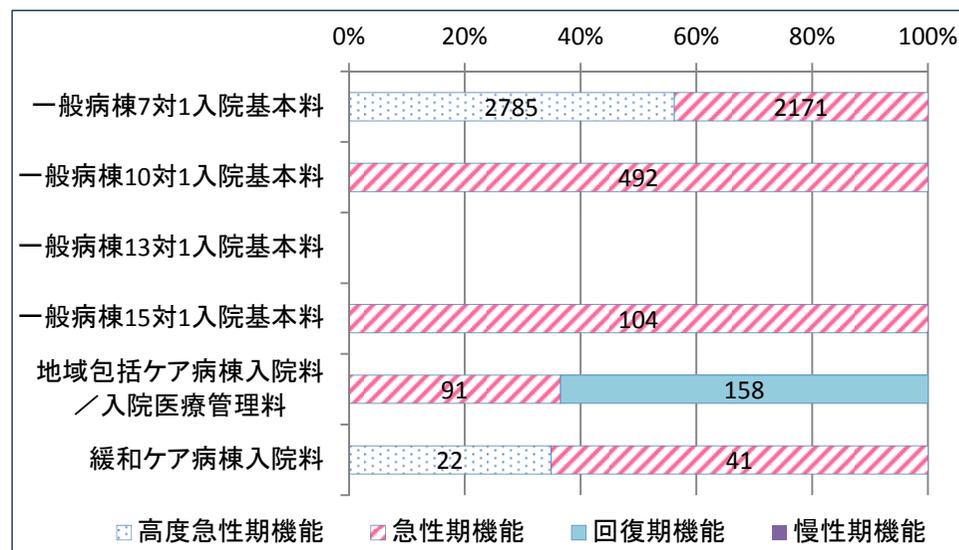


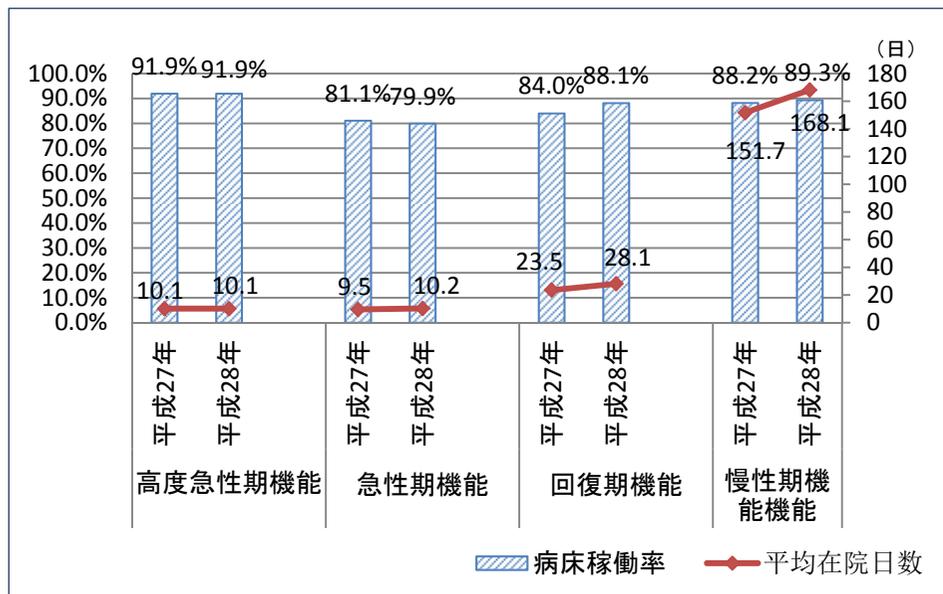
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	16163 88.8%	61 0.3%	284 1.6%	1702 9.3%
急性期機能	6248 83.4%	125 1.7%	271 3.6%	848 11.3%
回復期機能	295 82.9%	6 1.7%	37 10.4%	18 5.1%
慢性期機能	36 65.5%	3 5.5%	7 12.7%	9 16.4%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 64.6%

- ①各年度の報告内容の変動が大きい
- ②急性期・回復期機能で平均在院日数が長くなっている
- ③地域包括ケア病棟では、回復期機能と報告した割合がやや多い
- ③緩和ケア病棟では、高度急性期・急性期機能として報告されている
- ④回復期機能において、退院後に在宅医療を必要としない割合が高い